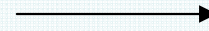
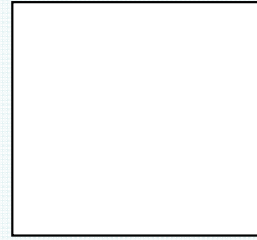
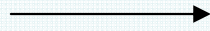
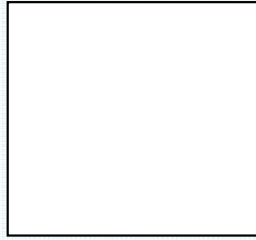


3文早つながぎ

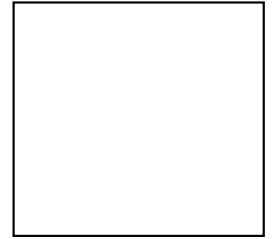
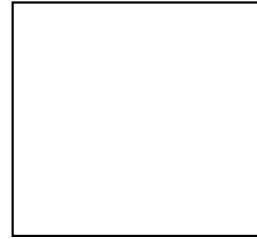
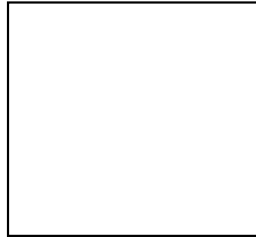
1 ホワイトボードにA、B、Cの3文が
うつされます。

2 A、B、Cを並びかえて意味が通る文章
にきなさい。

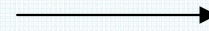
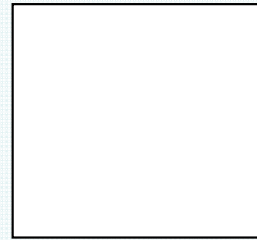
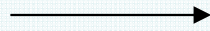
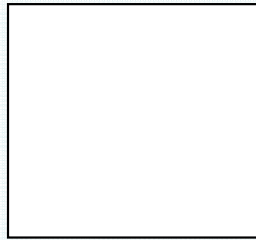
何についての話？



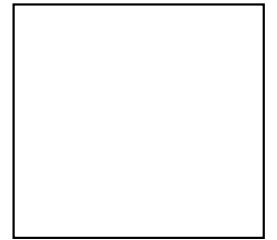
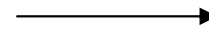
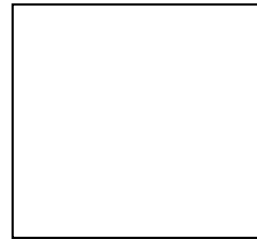
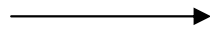
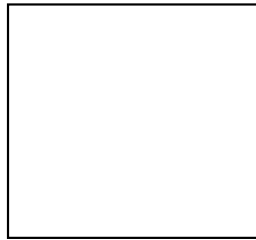
何についての話？



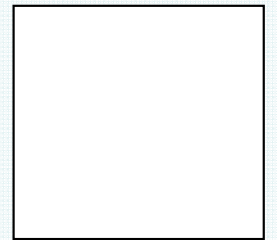
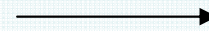
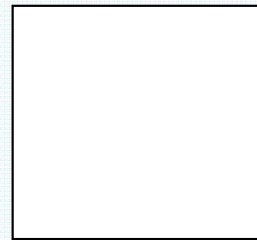
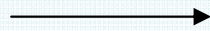
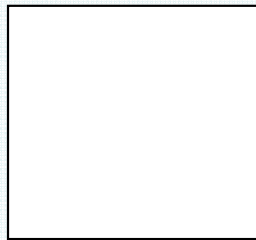
何についての話？



何についての話？



何についての話？



ヒットアンドホームラン

- にかくされた数字をあてます。
(2年生は3ボックス・1~10の数字)
- 生徒は順に数字を予想します。生徒の予想に対し先生は、「○ヒット、*ホームラン」と言います。

ヒット…数字はあっているけど場所が違う

ホームラン…数字も場所もあっている

を表します

ヒットアンドホームラン

例 正解が次のようになっているとします

8 2 5

たろうくんの予想

4、6、5

先生のこたえ

0ヒット1ホームラン

じろうくんの予想

2、5、7

先生のこたえ

2ヒット0ホームラン

ゴノダン

- 2人ひと組で対戦します。^{たいせん} (3人以上でも可)
- 山からトランプを順番に^{じゅんばん}1枚ずつとり、場に出します。
- 足し算、引き算、かけ算をつくり5の段をつくれたら場におかれたカードをすべてもらえます。^{ごうけい} 合計の枚数が多い人が勝ちです。^{まいすう}

(かけ算はクラス全員が九九を習ってから。それまでは和と差のみで。)

ゴノダン

- 自分がトランプを1枚引く^{じゅんばん}順番のときには、場に出す前に相手^{あいて}に見せずに計算をすることができます。
- 5の段^{だん}がつかれないときは、場にカード^すを捨てます。場にカード^すが捨てられたら、カードを引いていない人も、5の段^{だん}がつかれれば捨てられたカード^すをすべてもらえます。

ゴノダン



場には5と9が捨てられている

自分の番なのでカードを引いたら1(A)だった。この時、1を見ているのは自分だけ。
(自分の番では相手より先に計算できる)

⇒本来なら、 $5+9+1$ で15がつくれて、5、9、1の3枚を場からもらえる



しかし、計算をまちがえて、5の段はつくれないと思い、場にすてて、
ぼうっとしていると



対戦相手は、自分がカードを引く前に、3枚で5の段がつかれることに気づけば、この3枚を横取りできます。

⇒次は対戦相手が場の山から1枚ひく